

小泉 紫峰（こいずみ・しほう）

1、プロフィール

川柳作家。大正 13 年川柳入門。中央誌「川柳研究」で活躍。昭和8年「はちのへ川柳社」結成。八戸地域の川柳発展に尽力した。

<生没>

1908(明治 41)年2月 16 日～2003(平成 15)年6月 18 日

<代表作>

川柳句集「すて石」(昭和 37 年刊)「苔の花」(昭和 40 年刊)

<青森との関わり>

三戸郡福地村に生まれる。八戸市に在住し種苗店を営む。

2、作家解説

明治 41 年三戸郡福地村に誕生。本名林之助。地引高等小学校卒。卒業後、野辺地町野坂与治兵衛家に奉公する。昭和8年八戸市で種苗、雑貨、食料店を開業。

大正 13 年岡田飛魂のすすめで川柳入門、野辺地川柳会に入会。昭和5年ひづめ吟社同人。昭和7年川柳隊同人。昭和8年川柳不毛の地八戸市にはちのへ川柳社を佐藤逢月・太田順晃・吉田互苦勞・西塚春魚等と結成初代表となる。昭和 16 年機関誌「川柳はちのへ」を創刊。昭和 23 年、誌名を改号し「うまっこ」創刊。この間昭和 16 年、中央誌「川柳研究」幹事となり活躍。昭和 57 年はちのへ川柳社創立 50 周年を期に会長を退く。北日本川柳大会を開催するなど結社を超えた活動をする。主に八戸地域の川柳発展に尽力、多数の柳人を育成した。また青森県川柳社の重鎮でもあった。昭和 38 年八戸市文化賞受賞。平成6年県文化賞受賞。

句碑は3基建立される。

昭和 57 年「知る人ぞ知るすて石になれる幸」(八戸市長流寺境内)

平成元年「収穫へたね屋の知恵も感謝され」(小泉種苗開発農場内)
平成 10 年「記念樹が天にそびえて日々平和」(八戸公園こどもの国)

3、資料紹介

○「すて石」

図書

1962(昭和 37)年2月 10 日

185 mm × 125 mm

川柳句集。著者の第1句集で川柳入門時より昭和 37 年までの作品をまとめた句集。序文を川上三太郎はじめ六大家の内3人が寄稿している。編集人西塚春魚。発行人小泉紫峰。発行所はちのへ川柳社。

○「苔の花」

図書

1965(昭和 40)年 12 月 5 日

180 mm × 130 mm

川柳句集。著者の第2句集で、第1句集後から昭和 40 年までの 246 句を集録。第1回八戸文化褒賞受賞記念に刊行された。編集兼発行人西塚春魚。発行所句集“苔の花”刊行会。